

## 体育会学生の就職活動状況調査（2018年12月～2019年2月）

2019年2月

3月1日の採用情報解禁直前に迫るなか、体育会学生の就職活動状況はどうでしょうか。2月時点での「アスプラ2020」利用中の学生へ就職活動について、アンケート調査を行いました。

---

### 【調査概要】

調査対象：『アスプラ2020』に登録している体育会学生

回答件数：2018年12月230件・2019年1月236件・2月291件

調査方法：インターネット調査

調査期間：2018年12月3日～10日、2019年1月7日～14日、2019年2月5日～12日

### 【TOPICS】

#### ▼インターンシップの参加状況

12月（50.4%）から3月（69.5%）で19.1ポイントの増加。

参加社数は2月時点で「5社以上」の学生は20.5%最多。

#### ▼内定取得状況

体育会学生の内定率は2月時点で3.8%という結果に。

#### ▼志望職種・業界について

「まだ決まっていない」という学生は既に減少傾向に。

志望業界は3ヶ月連続で1位「食品・飲料」、2位「総合商社」

---

### ＜本資料について＞

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。

資料のご利用やご質問等に関しては、下記までご連絡ください。

### ＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社アスリートプランニング 広報担当

Tel: 03-5937-8460（受付時間：9:00～18:00/土日祝日を除く）

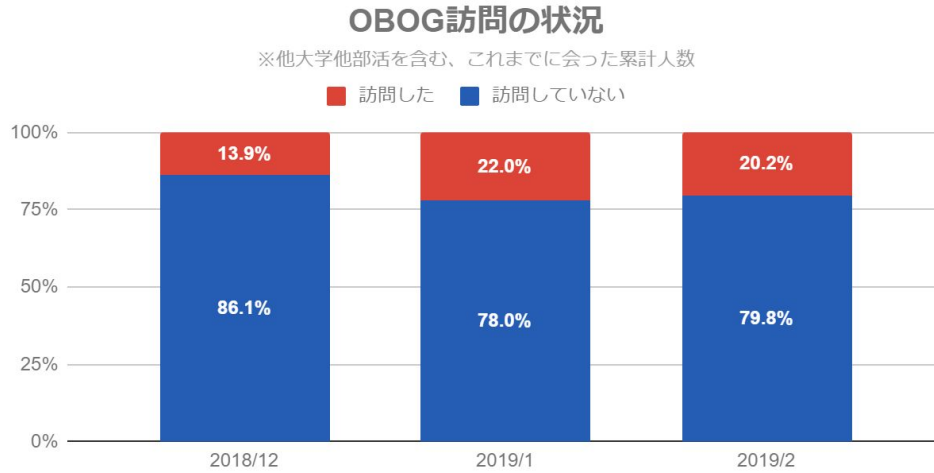
Mail: athlete2020@asupura.com

## ◆OBOG訪問の状況

OBOG訪問では2月時点で約8割の学生が未訪問であり、「これから訪問する予定がある」と答えた学生も10%に満たない結果となりました。

訪問をしていない学生の声としては「OBOG訪問をしたいが、希望する業界や企業に先輩がいないから聞くことができない」など、部活や学業などのスケジュール調整以外の原因も一定数あることが分かりました。体育会はOBOGとの強い繋がりを持っている反面、狭いコミュニティとなってしまうのかもしれませんが。

しかし3月1日の情報解禁後は、改めて情報を収集するために動き出す学生もいると考えられる為、今後の訪問数は増加していく可能性があります。



	'18/12	'19/1	'19/2
0名(訪問するつもりはない)	13.9%	19.1%	28.4%
0名(これから訪問したい)	68.3%	53.0%	47.3%
0名(これから訪問する予定がある)	3.9%	5.9%	4.1%
1名	5.7%	9.3%	6.2%
2名	3.0%	4.2%	5.1%
3名	0.9%	3.0%	2.7%
4名	0.9%	1.3%	1.0%
5名以上	3.5%	4.2%	5.1%

## ◆インターンシップの参加状況

インターンシップについてこの3か月の動きを見ると、参加したことがある体育会学生は12月（50.4%）から2月（69.5%）にかけて、19.1ポイント増と大きな動きが見られました。なかでも1月（58.9%）から2月（69.5%）は10.6ポイント増加が見られ、全体の約7割の学生がインターンシップへ参加経験があるという結果となりました。

体育会学生を含む、大学生全体のインターンシップ参加経験者が1月1日時点の89.2%（※1）と比較すると、体育会学生の参加経験（1月の58.9%）の差は30.3ポイント。また、2月時点では大学生全体の参加経験者数は92.4%（※2）に対して体育会学生は69.5%と、前月比でその差は22.9ポイントと減少傾向にあるものの、大学生全体と比較すると参加経験者は少ないように見えます。

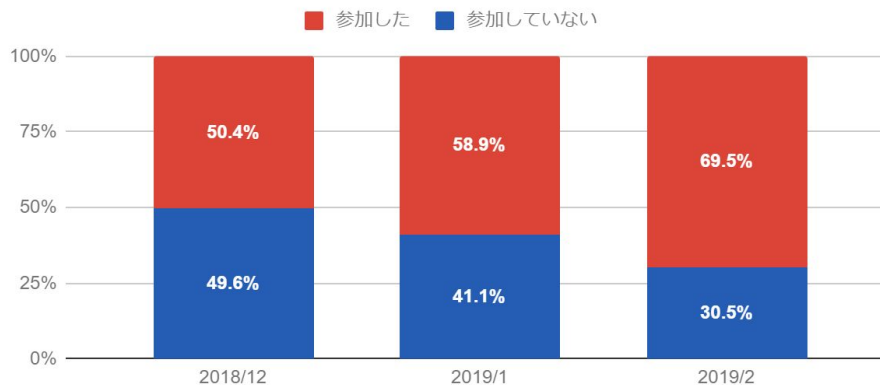
これは体育会学生特有のバックグラウンドに関係していると考えられます。各就活支援サイトに掲載されている内容では、大学生全体は夏期にインターンシップ参加が集中しています。しかし夏期が大会のピークを迎える体育会学生は、この12～2月の冬期がインターンシップへ参加しやすい時期となります。短い期間で自身の志望する企業・業界へのインターンシップを見つけ、参加している事を踏まえると、体育会学生のインターンシップへの関心の高さが伺えます。

※1 『キャリアス就活2020 学生モニター調査結果（2019年1月発行）』

※2 『キャリアス就活2020 学生モニター調査結果（2019年2月発行）』

### インターンシップの参加状況

※これまでに参加したもの全て



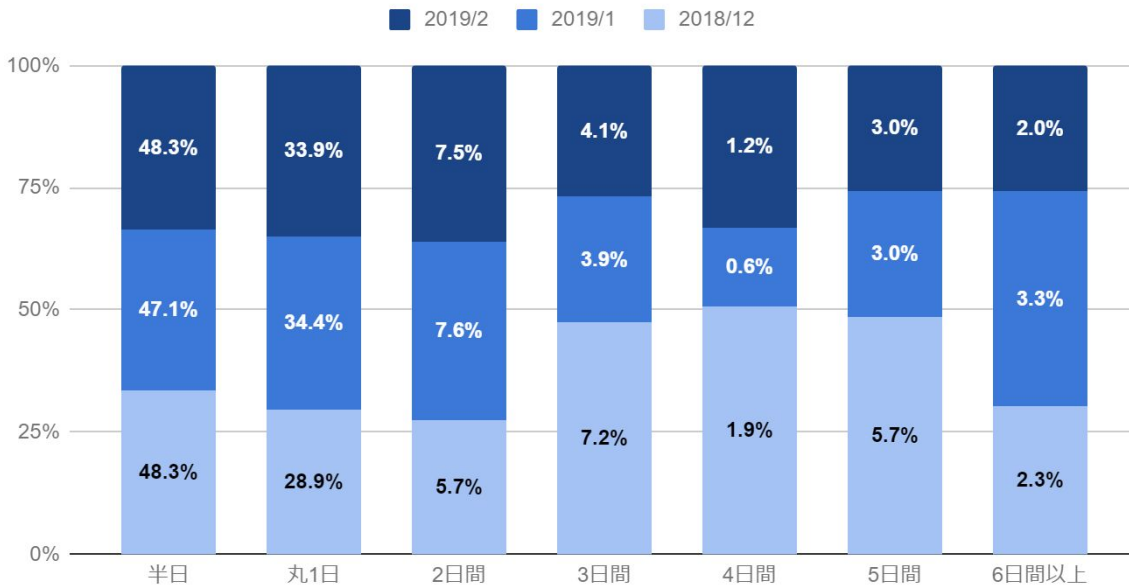
また「5社以上参加した」と回答する学生が12月（8.3%）から2月（20.5%）と12.2ポイントの増加。インターンシップへ参加した学生の中では1番比率が高い結果となりました。

	'18/12	'19/1	'19/2
0社(参加するつもりはない)	6.5%	7.6%	8.2%
0社(これから参加したい)	29.6%	20.3%	13.0%
0社(これから参加する予定がある)	13.5%	13.1%	9.2%
1社	17.4%	19.5%	16.4%
2社	11.7%	11.4%	13.0%
3社	9.6%	10.6%	13.4%
4社	3.5%	5.5%	6.2%
5社以上	8.3%	11.9%	20.5%

インターンシップの参加日程については「半日」「丸1日」と回答した学生の合計が全体の約8割を占めている結果となりました。部活動や授業が比較的少ない冬期に、多くの企業のインターンシップを受けるため、プログラムが短いものを選択している為だと推測されます。

### 参加したインターンシップの日程

※これまでに参加したもの全て



## ◆就職活動状況

### ○合同企業説明会・個社説明会の参加状況

2月の合同企業説明会の参加経験状況は、12月時点（72.6%）より19.5ポイント増加の92.1%。なかでも1月（78.0%）から2月への変化は大きく、14.1ポイントの増加となりました。

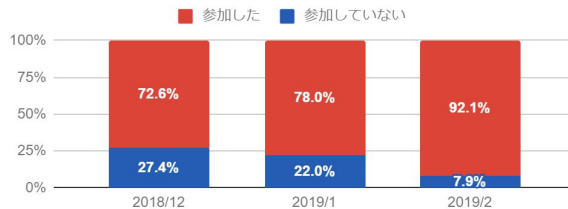
また参加回数にも変化が現れ、全体数としては小さいものの、合同企業説明会へ「5回」参加したと回答する学生が5.1ポイント増加しました（5.9%→11.0%）。

弊社の合同企業説明会は入退場が自由、服装指定もないため、部活の前や部活終わりに部員同士で参加する様子も多く見られました。

個社説明会への参加も月を追うごとに増加傾向にあります。合同企業説明会と同様に1月（44.1%）から2月（62.9%）で18.8ポイント増加。全体の約6割の学生が3月の情報解禁を目前に、企業の説明会へ参加した結果となりました。

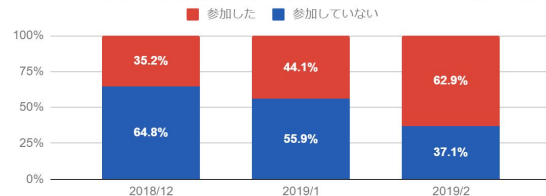
#### 合同企業説明会の参加状況

※学内開催の合同企業説明会を除く、これまでに参加した累計



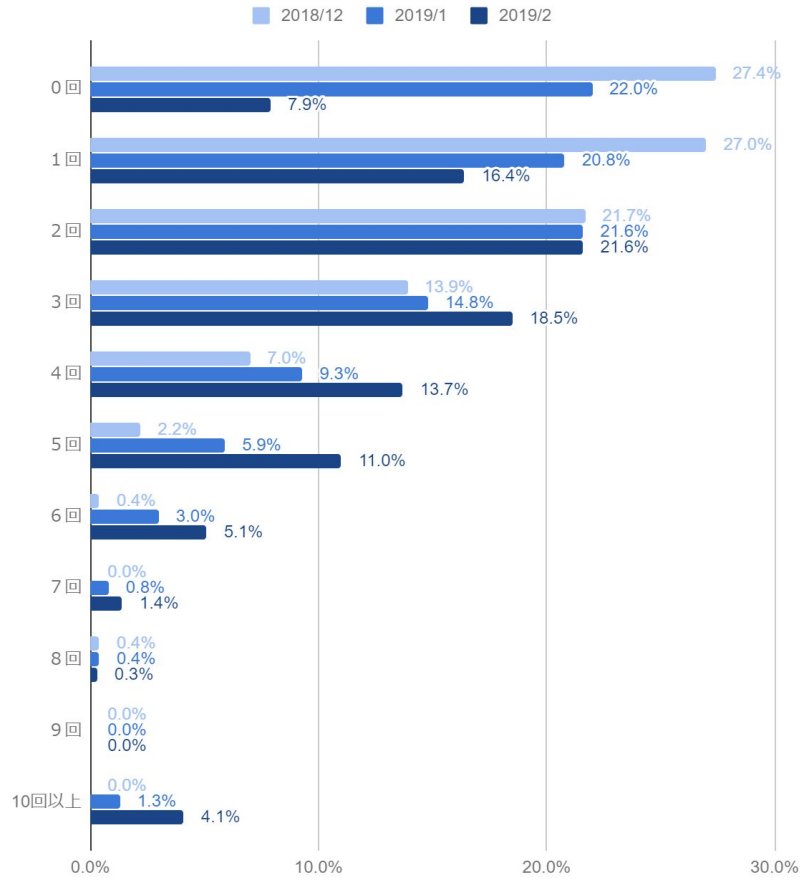
#### 個社説明会の参加状況

※インターンシップのための説明会やインターンシップを含まない、これまでに参加した累計



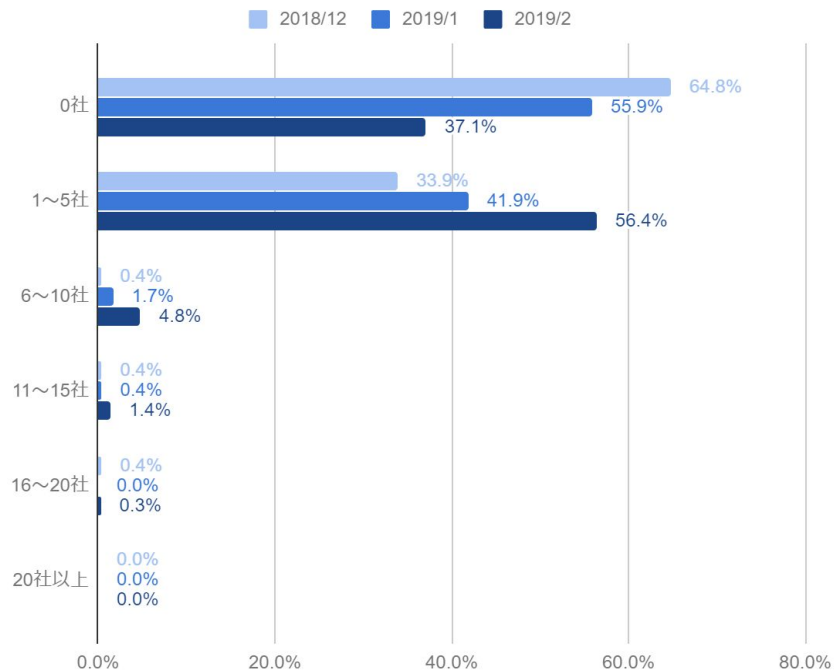
### 合同企業説明会の参加回数

※学内開催の合同説明会を除く、これまでに参加した累計



### 個社説明会の参加社数

※インターンシップの為の説明会やインターンシップを含まない、これまでに参加した累計



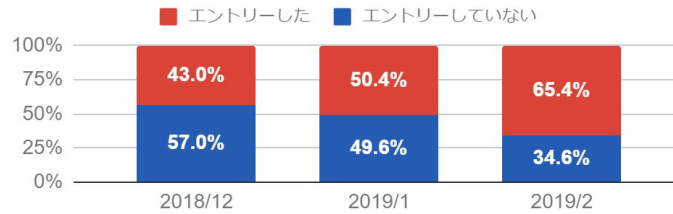
## ○エントリー数・エントリーシートの提出数

2月時点でのエントリー数は、インターンシップや個社説明会の参加率に伴い、増加傾向にあります（43.0%→50.4%→65.4%）。中でも「1～5社」の回答が最も多く、2月は1月（36.4%）から5.7ポイントの増加。30社以上エントリーしたと答える学生はほとんどいないものの、全体的にエントリーへの意識が高まっている事が分かります。

また実際の就職活動解禁は3月1日となるので、今回よりも更に大きな変化になると推測されます。

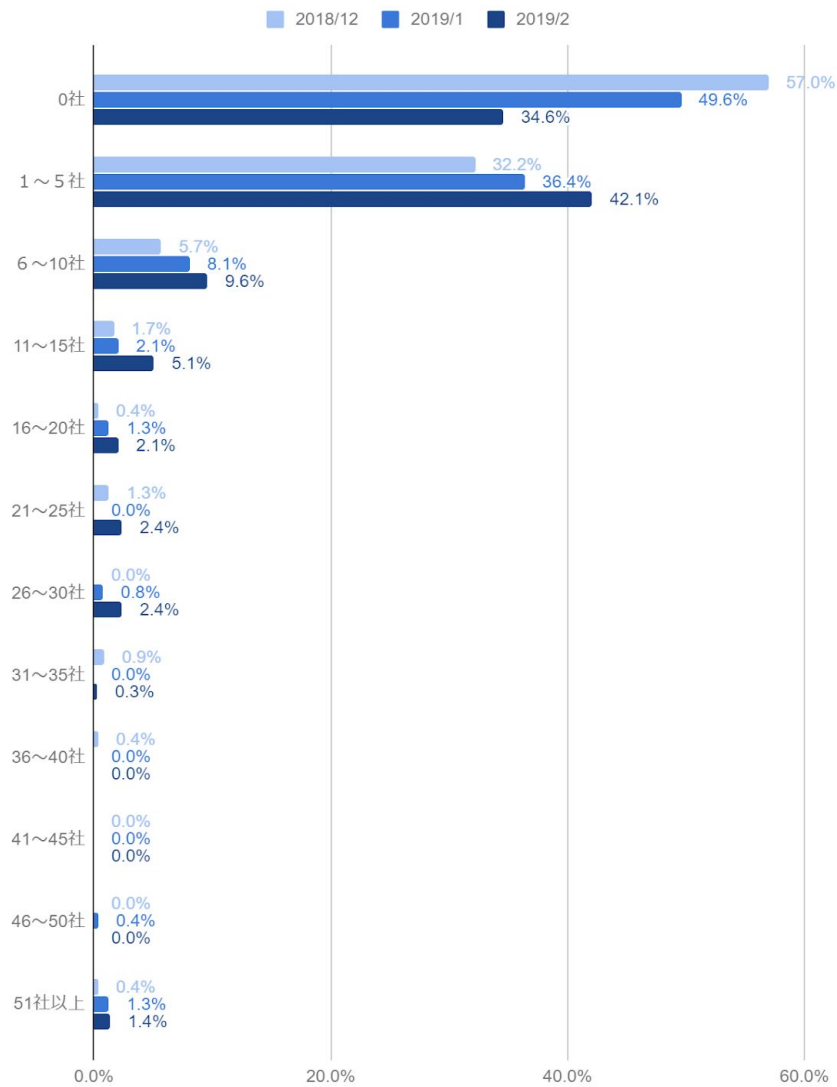
### エントリー状況

※インターンシップを含まない



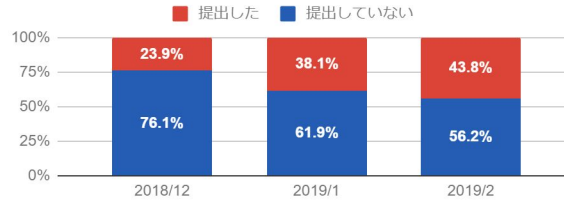
### エントリー数

※インターンシップを含まない、これまでにエントリーした企業の累計



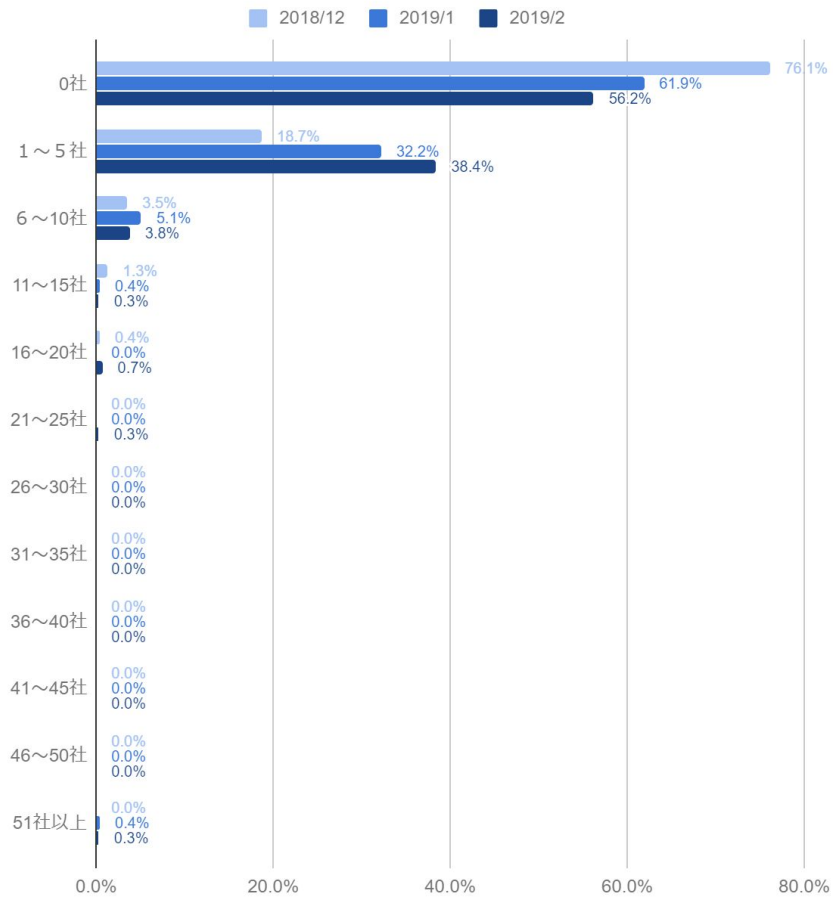
エントリーシートの提出数はまだ半数を超えておらず、エントリーからの提出に至るまでがひとつの壁になっているように伺えます。しかし、12月から2月にかけて「提出した」という回答が増加傾向にあることから（23.9%→38.1%→43.8%）、来月にはエントリーシートの提出者数は半数を超えると推測されます。

### エントリーシートの提出状況



### エントリーシートの提出数

※インターンシップ選考のための書類提出は含まない、これまでに提出した企業の累計



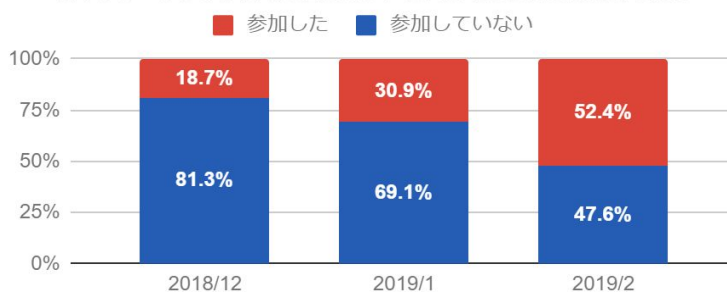
## ○本選考への参加・内定取得状況

本選考への参加状況は12月時点（18.7%）から2月（52.4%）では33.7ポイントと大きな変化が現れました。また1月時点での体育会学生の30.9%と、大学生全体の29.3%（※1）で大きな差は見られなかったことに対し、2月時点では体育会学生は参加経験者が半数を超え、大学生全体の39.9%（※2）と12.5ポイントの差が見られました。

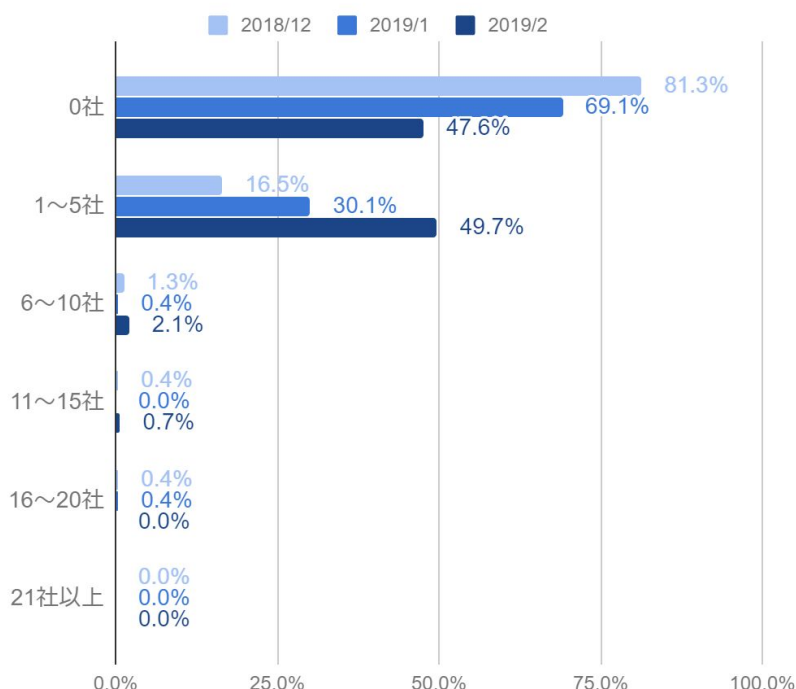
多くの体育会学生は、春以降からの部活のスケジュール（練習・大会）が過密になって来る事を想定しながら就職活動を行っているとうかがえます。

### 本選考参加状況

※インターンシップ選考を含まない、これまでに参加した企業の累計



### 本選考参加状況＜参加社数＞



内定取得状況についてはここ近年、就職活動において内定出しの早期化が取り沙汰されておりますが、現時点での体育会学生の結果からは早期化の動きはあまり見受けられませんでした。

しかし内定を取得している学生も全くいないという訳ではなく、12月から2月にかけて徐々に増加傾向にあるため（0.9%→1.7%→3.8%）、3月1日の解禁後の動きによって企業の採用動向も見えてくるのではないのでしょうか。

### 内定取得状況

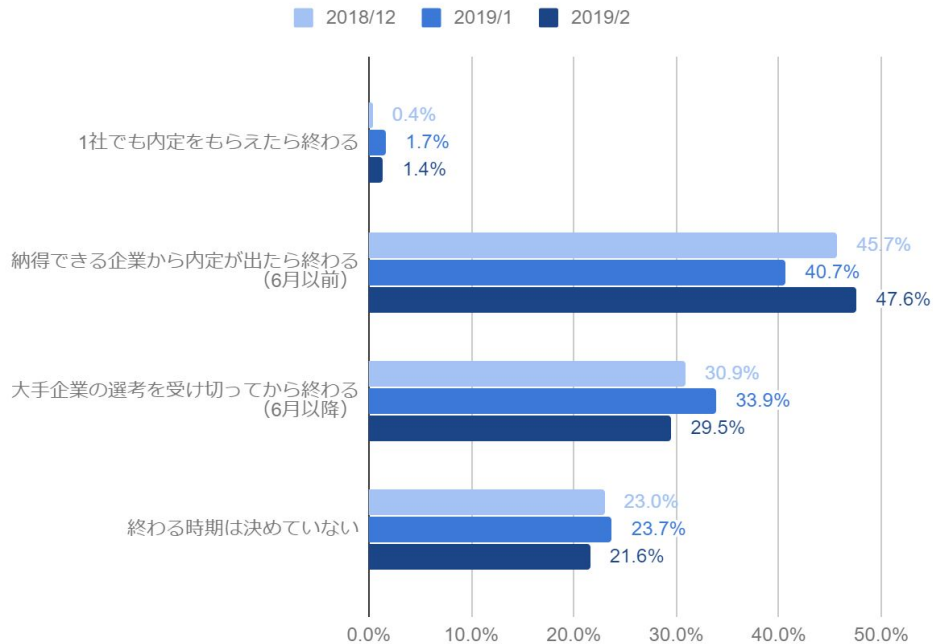
※内々定を含む





また就職活動の終了時期に関しては2月時点で、6月以前でも「納得できる企業から内定が出たら終わる」という回答数が1月時点（40.7%）より6.9ポイント増加しています。グラフへの記載はありませんが、学生からは「実習の前に内定をもらっておきたい」「4月から部活動や大学が本格的に始まる前に内定をもらって安心したい」という声もあります。

### 就活を終了しようと考えている時期



## ◆志望する職種・業界

### ○志望する職種・業界

志望業界については、上位6業界は3か月通して「食品・飲料」「総合商社」「不動産・建設」「スポーツ」「金融」「鉄道・航空」が全体の半数を占める結果となりました（50.0%→51.2%→50.3% ※1位～6位の合計）中でも毎年体育会学生に人気の「食品・飲料」と「総合商社」は1位と2位で変わらず、以下4業界は3位～6位の中で順位が変動しています。

「スポーツ」を志望する学生が一定数いることは、体育会の特徴でもあります。「自身が今まで経験してきた事を活かしたい」「何かしらの形でスポーツ業界の発展に携わりたい」という思いが、志望業界の選択のひとつになっていると推測されます。

また体育会のイメージとしてはあまり馴染みのない「IT」や「化学」も今回上位20位にランクインしています。「IT」は3ヶ月続けて（2.3%→4.0%→3.4%）、「化学」は2月は外れてしまったものの12月、1月ともに1.8%の割合で20業界の中に入っています。

なお、8位以降の割合は大きな差もなく、今後も順位は変動していく可能性があります。

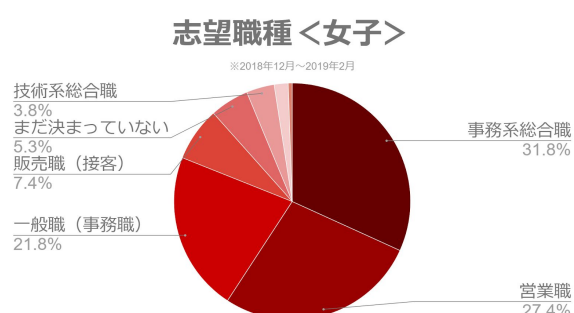
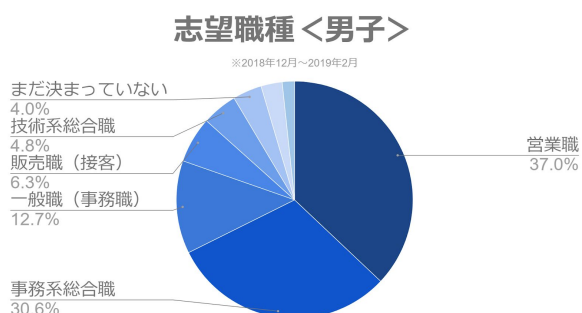
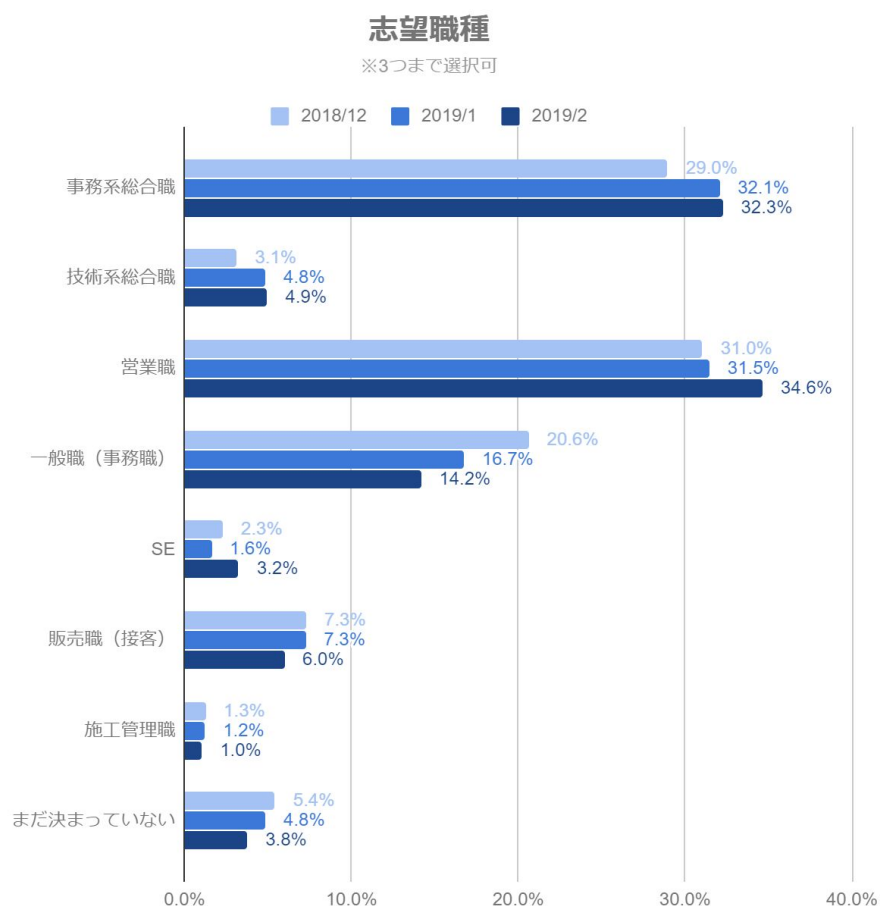
## 志望する業界上位20位

	2018年12月	2019年1月	2019年2月
1	食品・飲料 10.6%	食品・飲料 11.5%	食品・飲料 10.8%
2	総合商社 9.3%	総合商社 9.9%	総合商社 8.9%
3	不動産・建設 8.5%	スポーツ 9.9%	不動産・建設 8.8%
4	金融 7.8%	不動産・建設 7.0%	スポーツ 8.3%
5	スポーツ 7.0%	鉄道・航空 6.7%	金融 7.8%
6	鉄道・航空 6.8%	金融 6.2%	鉄道・航空 5.7%
7	TV・広告 6.0%	IT 4.0%	コンサル 4.2%
8	コンサル 3.3%	旅行 4.0%	公務員 3.5%
9	人材 3.3%	化粧品・日用品 3.8%	IT 3.4%
10	公務員 3.2%	TV・広告 3.4%	インフラ 3.4%
11	旅行 2.8%	公務員 3.0%	自動車 2.9%
12	IT 2.3%	コンサル 2.9%	旅行 2.7%
13	物流・運輸 2.2%	インフラ 2.7%	ホテル 2.7%
14	新聞・出版 2.2%	人材 2.2%	人材 2.7%
15	自動車 2.0%	教育 1.9%	TV・広告 2.6%
16	インフラ 2.0%	自動車 1.8%	化粧品・日用品 1.9%
17	化粧品・日用品 2.0%	化学 1.8%	物流・運輸 1.6%
18	化学 1.8%	ホテル 1.8%	ブライダル 1.6%
19	アミューズメント 1.8%	教職 1.8%	教育 1.6%
20	ホテル 1.7%	物流・運輸 1.6%	通信 1.4%

志望職種は全体として例年通り「事務系総合職」と「営業職」に回答が集中しています。1月時点では「事務系総合職」が32.1%と一時「営業職」を0.6ポイント上回りましたが、2月では再度「営業職」が「事務系総合職（32.3%）」を2.3ポイント上回る結果となりました。

男女別に見ると、2月時点で割合の高かった「営業職」は男子（37.0%）と女子（27.4%）で9.6ポイントの差が出ていますが、「事務系総合職」においては男女での差がほぼ無い（男子30.6%、女子31.8%）結果となっています。

また「一般職（事務職）」は女子の中での割合が21.8%と男子（12.7%）より9.1ポイント高い結果となっています。しかし、今までの経験を活かしやすい「営業」や「事務系総合職」を選択する傾向が増えつつある為、全体数としては下降傾向にあります。但し、3月1日以降就職情報が解禁された後に変動する可能性があります。



## ○企業選びの軸

企業選びの軸は「安定性」を求める学生が引き続き多く、全体の約2割を占める結果となりました（2月時点19.3%）。尚2番目に回答数の多い「社会的交流性」は、チームワークを大切にしてきた体育会の特徴が現れています（2月時点13.4%）。「成長性」の回答数増加（6.6%→8.8%→10.4%）からも、今まで周囲のメンバーに支えられてきた分も含め、今度は自らチームを支える事によって成長に繋げていきたいという思いがあるように見えます。

### 企業選びの軸

※3つまで選択可

